

**鹿屋市市民交流センター（情報プラザ等）の
民間活用等に係るサウンディング型（対話型）市場調査
調査結果概要**

令和4年8月5日

1 調査の目的

鹿屋市市民交流センター（リナシティかのや内）は、市民の幅広い交流を促進し、市民の社会的かつ文化的な創造活動の推進を図るとともに、総合的なサービスを提供することにより、市民福祉の増進と中心市街地の活性化に寄与することを目的として設置された複合施設であり、年間30万人を超える方々に利用いただいています。

しかしながら、開館から15年が経過し、今後、利用者数の増加に向けた取組や街のにぎわいづくりの活性化策など検討しなければならない様々な課題があります。

本市としましては、DXによる地方創生や人口減少対策、起業者・地元企業のコミュニケーション等の支援、若者の学習・就業・コミュニケーション支援等を推進するために、市民交流センター（情報プラザ等）の今後の在り方について、令和4年度中に方針を整理することとしており、今回、民間事業者が持つ経営ノウハウやアイデアを活用した運営の可能性について調査することといたしました。

今回の調査は、民間事業者との対話の場を設けることで、市民交流センター（情報プラザ等）の市場性や活用策等を把握し、民間事業者参入の可能性を探るとともに、より良い施設運営の在り方について検討することなどを目的に実施したものです。

2 調査の対象施設

施設名	所在地
鹿屋市市民交流センター（情報プラザ等）	鹿屋市大手町1番1号

3 実施スケジュール

実施要領の公表	令和4年6月9日（木）～
現地見学会・説明会の参加申込期限	令和4年6月15日（水）
現地見学会・説明会の開催	令和4年6月23日（木）
サウンディング参加申込期限	令和4年6月28日（火）

サウンディングの実施	令和4年7月1日(金)
実施結果概要の公表	令和4年8月5日(金)

4 調査（個別対話）の参加者

4 事業者（金融機関、IT事業者、宿泊関連事業者）

5 調査（個別対話）の概要

各事業者からの提案及び意見は、以下のとおりです。

なお、参加した事業者が特定されないよう、複数の参加事業者の意見を混在して記載しています。

項目	提案・意見（概要）
運営に関すること （情報プラザ等の活用）	<p>【運営方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政がどこかの世代だけにフォーカスを当てることは難しいが、民間ならできる。 ○鹿屋市内の企業だけではなく、東京を含めた県外の大手企業と連携強化を図る必要がある。 ○管理者目線ではなく、利用者目線で考えないといけない。 ○見直しのビジョンとフィットする企業を見つけるべきである。 ○行政の建物を使用する場合、規制が多いことから、できる限り緩和してほしい。 ○無償貸付であれば、民間の参入も見込める。 ○PPP など民間が参入できる仕組みづくりを整理するべきである。 <p>【活用方法】</p> <p>（図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リナシティに図書館が入り、子育て世代が利用しやすいようにカフェや子どもが遊べる場所が必要であるが、大手企業と連携する方法もある。 ○子どもが遊べて、図書館があつて、食事ができるようなもの、飲食が伴わないと人は集まらない。 ○図書館、託児所、カフェを設置し、2、3階及び屋上も活用されたい。 <p>（カフェ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人を集めるためには、ネームバリューのあるカフェの誘致が必要である。

	<p>(コワーキングスペース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレワークやサテライトオフィスが主流になりつつある今の時代に、コワーキングスペースは必要なインフラである。 ○コワーキングスペースを整備すれば、今までリナシティを利用していなかった人達が集まる。 ○コワーキングスペースは、何年後かに流行しているかどうか分からないが、やらないと鹿屋は変わらない。 ○鹿屋市でコワーキングスペースを運営したい。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性の働き方を応援、飲食店との連携、保育施設、シェアキッチン等を併設したらどうか。 ○土日に人が集まるような機能が必要である。 ○リナシティの中に目的地が複数ないといけない。 ○eスポーツができる場所やスペースのいない電子図書館の検討はどうか。 ○行政発信のものを民に押し付けるのではなく、民がやることを行政が後押ししてほしい。
<p>施設に関すること (施設・設備等の改修等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○屋上でイベント等を実施するためには、屋上にトイレが必要である。 ○スケボー、ボルダリングができる場所があるとよい。 ○多くの市民が集まり、憩える場所になってほしい。 ○Wi-Fi環境があり、勉強できる場所があればよい。

6 調査結果

今回の調査において、多くのご意見及びご提案をいただきました。

調査の結果、対象施設については、一定程度の改修と民間事業所等の意見を取り入れながら、多くの市民から利用されるために、新たな機能を検討するべきであると判断できました。

今後、本調査の結果を踏まえ、運営手法や改修を含めた施設の在り方等について、整理検討を進めることといたします。

7 問い合わせ

鹿屋市役所 農林商工部 商工振興課

TEL:0994-31-1164 FAX:0994-40-8688